

## 第4回 物流事業者におけるKPI導入のあり方に関する検討会 議事概要

### 1 日時

平成27年3月19日（木）15:00～17:00

### 2 場所

東海大学校友会館 霞の間（霞が関ビル35階）

### 3 議事概要

1. 事務局よりKPI導入の手引きのとりまとめ、今後の普及方策等について説明。
2. 委員からは全体を通じ、以下のような発言があった。  
なお、委員の修正意見等については座長及び事務局に一任いただくことで合意。

#### <物流事業者におけるKPI導入の手引き（資料1）について>

- 「可視化」と「見える化」等、同じ意味の用語はどちらかに統一した方がよい。
- KPIの例として、スピードメーターを取り上げるのは違和感がある。例えばカーナビのような正確な場所に正確な時間に到達するためのツールとしてのKPIという位置づけが分かれば良い。
- 「KPIを活用した改善プロセスの構築のための具体的な手順及びそのポイント」の各項目におけるアイコンについて、物流事業者と荷主が離れているので、荷主と一体となった雰囲気のある絵の方が良い。

○「具体的な KPI の算出方法及びその利用場面」の表について、「主に事業者が利用」ではなく、「荷主と連携して利用」にしか◎印がついていない項目があるが、印がついていないと関係ないと思われる可能性がある。主体は全て物流事業者であることが分かるような表現の方が良いのではないか。

○物流事業者が連携できるのは発荷主だけであり、着荷主との直接の連携は難しいが、着荷主が動かないと物流上の課題は改善できない。相互の連携を深めることで物流システム全体のコストダウンに繋がり、関係者全体にメリットが出るということが分かると良い。

○「ゲインシェア」等、難解な用語の補足説明を追加してほしい。

○物流の効率化に関する事例において、数値データは掲載されていないが、数字を入れると説得力が増すと思う。但し、ベンチマーク的に各社の基礎条件を無視して優劣を判断されるといったネガティブな使われ方をされないようなものを選ぶ必要はある。

<物流事業者における KPI 導入の手引き（概要版）（資料 2）について>

○資料 1 を読み込む読者は、既に KPI を活用している事業者が中心であるため、資料 2 を KPI を利用したことがない事業者にとって、とっつきやすくすることが重要である。そのような観点では、利用事例が文字だけでなく絵があればわかり易い。また、文章が多いので重要な箇所の下線を引くなど、目を引く工夫が欲しい。ターゲットとなりうる事業者に事前に案を読んでもらい、意見を聞いてみてはどうか。

○資料2の概要版においても具体的なKPIの算出方法に関する情報がある程度載せた方が良いのではないか。

<今後の普及方策について>

○いかにターゲットに届くのが重要。関心のある事業者はインターネットで検索して見てもらえるが、関心の低い事業者等にも普及させるためには、業界団体等を通じた普及活動も必要である。

○実際に導入した例として、具体的なデータを含め提供することも可能である。そういった導入事例を作り、公表していくことにより、実際にKPIを導入したい事業者が手引き以上の情報がほしい場合に役立つのではないか。

以上  
(文責 事務局)